

1 実証実験の目的

高齢者の利用に配慮した移動手段の確保と持続可能な移動手段の確立を目的とする。高齢者にやさしいドアツードア運行であり、バスに比べて財政負担を軽減可能なタクシーの活用可能性を検証する。

2 地域タクシー実証実験の概要

実験の期間	令和２年４月～令和３年３月（１年間）
運行方法	電話呼び出しによるタクシー乗車（一般乗用）
市負担	利用実績に応じた料金収入とタクシー料金の差額負担
利用できる人	既存地域バスの本来の利用想定者である千鳥・成合、上高町、七重、勘八自治区のいずれかに在住の小学生以上の方で利用登録した人
利用できる区間	自宅⇔指定目的地 または 指定目的地⇔指定目的地
料金設定	1乗車（片道）300円 ※複数人で乗合せすれば負担減（例：3人で乗車すれば一人あたり100円）
運行日時	毎週火曜日と金曜日 8：00～18：00（休止中の地域バスと同水準）

3 運行エリア



4 利用実績

(1) 月別利用実績

	運行回数	利用者数	運行経費	収入	市負担額	乗合率	収支率
4月	44回	61人	154,440円	13,200円	141,240円	1.39	8.5
5月	32回	50人	112,320円	9,600円	102,720円	1.57	8.5
6月	44回	58人	154,440円	13,200円	141,240円	1.32	8.5
7月	44回	62人	154,440円	13,200円	141,240円	1.41	8.5
8月	50回	60人	175,500円	15,000円	160,500円	1.2	8.5
9月	60回	70人	210,600円	18,000円	192,600円	1.17	8.5
10月	72回	93人	252,720円	21,600円	231,120円	1.3	8.5
11月	74回	88人	259,740円	22,200円	237,540円	1.19	8.5
12月	78回	95人	273,780円	23,400円	250,380円	1.22	8.5

(2) 地域バスとの比較（４～１２月）

	利用者数	市負担額	1人運ぶ当たりの市負担額	収支率
地域バス（R1）	409人	4,798,200円	11,732円/人	0.86%
地域タクシー	637人	1,598,580円	2,510円/人	8.5%
比較	+55.7%	▲66.7%	▲78.6%	

(3) 利用登録者数と実利用者数

	千鳥・成合	上高町	七重	勘八	合計
6～18歳	0人	5人	8人	7人	20人
19～59歳	1人	12人	14人	35人	62人
60～69歳	3人	8人	13人	11人	35人
70～79歳	8人	5人	12人	8人	33人
80歳以上	6人	4人	7人	3人	20人
地区合計	18人	34人	54人	64人	170人
実利用者	3人	3人	2人	7人	15人

※実利用者：1回以上予約したことのある人

(4) 主な指定目的地利用回数（４～１２月）

コノミヤ182回、猿投駅162回、平戸橋医院79回、メグリア44回、扶桑町バス停17回など

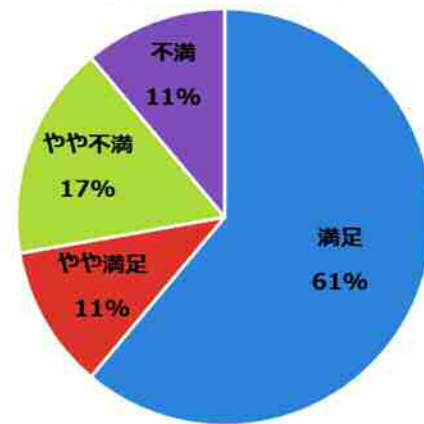
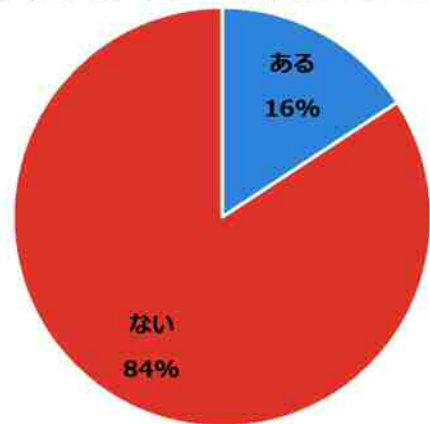
5 アンケート調査

(1) アンケート調査の概要

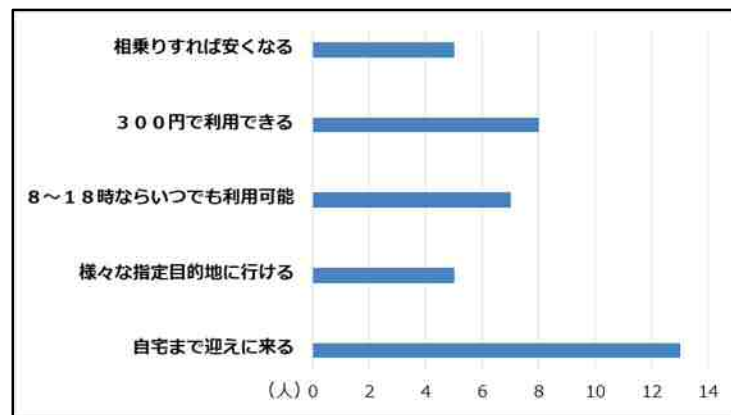
- ・対象者：利用登録者 170名
- ・期間：10月26日～11月30日
- ・回収数：117枚（回収率68.8%）

(2) アンケート結果 ※未回答などを除く有効回答のみで集計

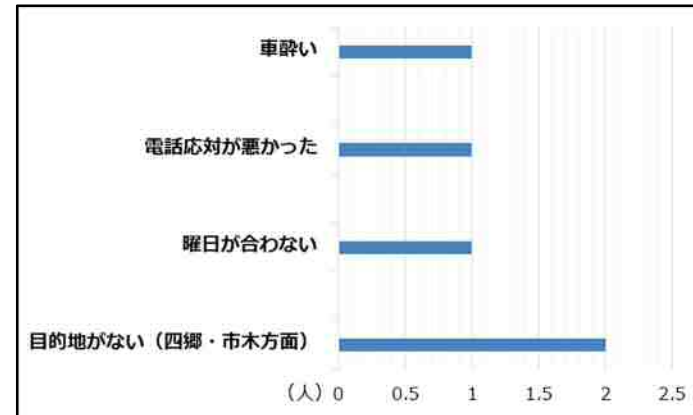
① つくばね地域タクシーを利用したことがありますか？ ② ①で「ある」と答えた人（16%）の満足度



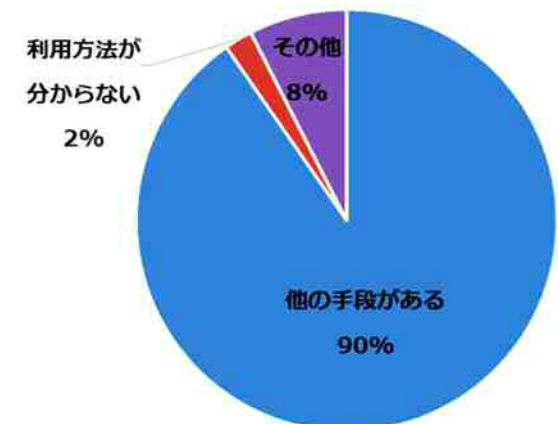
③ ②の「満足 or やや満足」（72%）の理由



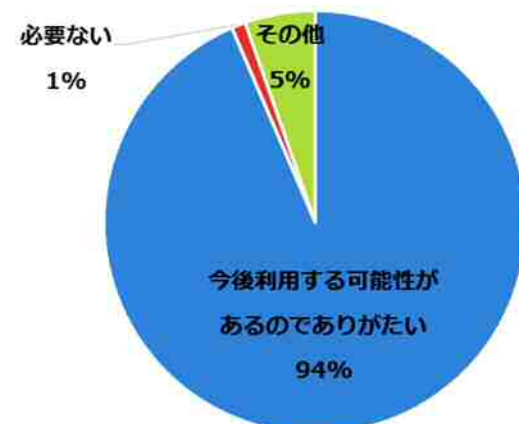
④ ②の「やや不満 or 不満」（28%）の理由



⑤ ①で「ない」と答えた人（84%）の理由



⑥ ①で「ない」と答えた人（84%）が「地域に地域タクシーが運行していること」に対する評価



- ・利用者したことのある人のうち70%以上の人が制度に満足している
- ・利用したことがない人の主な理由は「他の移動手段がある」からであり、90%以上の人は地域に制度があることに対して「今後利用する可能性があるなのでありがたい」と感じている。

・自由記述

《主な肯定意見》

- 「日中は家族がいないので、負担が少なく気軽に利用できる地域タクシーはありがたい」
- 「この地域にとってこの上もないありがたい制度で、将来自身がお世話になる時の安心感でもある」
- 「高齢で免許返納を考えているので、このタクシーの継続を希望します」

《主な要望等》

- 「毎日利用できるようにしてほしい」
- 「運行時間を延ばしてほしい」
- 「指定目的地を増やしてほしい（市木方面、四郷方面、豊田市駅など）」

(3) 要望に対する判断

・運行曜日と運行時間について

一定数の増加要望はあるものの、現在の制度における利用者の満足度が高いことから、本運行においても週2日（8～18時）の運行とする。

・指定目的地について

要望のあった石野地域内の施設については、指定目的地に追加する。それ以外の地区外の要望については、地域バスのもともとの運行目的である「通院・買い物のための移動」が現在の指定目的地で担えること、要望のあった方面へは既存交通への乗り換えによりアクセス可能なことなどから現在の指定目的地を基本とした運行で本運行とする。

ただし、本運行後についても対象自治区で構成される運営協議会にて協議を行い、他地域との整合性や持続可能性などを考慮しつつ制度の変更については検討を継続するものとする。

6 本運行化に向けた総合評価

項目	評価	備考
配車の確実性	○	予約が取れずに移動を諦めた事例もなく、移動需要に対して適切な配車が行われている。
持続可能性	○	・ドアツードア運行となり、より高齢者にやさしい運行になった ・市負担額がバスと比較して66.7%減少した
利用者満足度（アンケート結果）	○	・利用者の70%以上が制度について満足している ・非利用者についても、90%以上が制度があることに肯定的である
担い手の確保	○	運行に関するトラブルなども発生しておらず、制度として不具合もないため、現運行事業者による継続運行が可能

《結論》

各項目に対し良好な評価であるため、石野地域バス（つくばねコース）の地域タクシー代替については、令和3年3月末をもって実証実験を終了し、令和3年4月から本運行化とする。